

論文の書き方 (執筆の準備)

執筆の準備 論文の書き方 (執筆の準備) 1

1. 論文の目的と意義を明確にする

2. 読者のレベルを考慮する

3. 研究の背景と重要性を説明する

4. 研究の目的を明確にする

5. 研究の範囲と限界を説明する

6. 研究の重要性を強調する



論文

論文の構成

論文の構成要素

1. 論文の目的 (Abstract) 論文の目的を簡潔に説明する。読者に論文の概要を伝える。

2. 論文の背景 (Introduction) 研究の背景と重要性を説明する。読者に研究の意義を伝える。

3. 論文の目的 (Research objectives) 研究の目的を明確にする。読者に研究の範囲と限界を伝える。

4. 論文の構成 (Methodology) 研究の方法を説明する。

5. 論文の結果 (Results) 研究の結果を説明する。

6. 論文の結論 (Conclusion) 研究の結論を説明する。

7. 論文の参考文献 (References) 研究の参考文献をリストアップする。

8. 論文の謝辞 (Acknowledgments) 研究のサポートを受けた人々に感謝する。

9. 論文の脚注 (Footnotes) 論文の脚注を説明する。

10. 論文の索引 (Index) 論文の索引を説明する。

11. 論文の参考文献 (References) 研究の参考文献をリストアップする。

12. 論文の謝辞 (Acknowledgments) 研究のサポートを受けた人々に感謝する。

13. 論文の脚注 (Footnotes) 論文の脚注を説明する。

エビデンスは悪用を避けるため、ぼかして表示しています。

14. 論文の参考文献 (References) 研究の参考文献をリストアップする。

15. 論文の謝辞 (Acknowledgments) 研究のサポートを受けた人々に感謝する。

16. 論文の脚注 (Footnotes) 論文の脚注を説明する。

17. 論文の索引 (Index) 論文の索引を説明する。

18. 論文の参考文献 (References) 研究の参考文献をリストアップする。

19. 論文の謝辞 (Acknowledgments) 研究のサポートを受けた人々に感謝する。

3. 試験問題

3.1. 読解

1. 本文を細読して以下の各設問に答え、解答例を記入し、訂正や所定時間内に書き直せ。500字程度で回答し、必要に応じて理由を添えて記述すること。
2. 本文中の語彙的表現を細読し、その意味を説明し、その語彙的機能やその語彙的機能の活用したものを試論で示すこと。
3. 読解例のテーマや文の構造の論理的な展開を述べ、読解例の主題やその文の展開、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
4. 本文中の、語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
5. 読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
6. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
7. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
8. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

3.2. 読解例の構造分析

3.2.1.1. 読解例の構造分析

1. 本文を細読して、その語彙的表現を細読し、その語彙的機能やその語彙的機能の活用したものを試論で示すこと。
2. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

3.2.1.2. 本文中の語彙的表現の活用

1. 本文を細読して、その語彙的表現を細読し、その語彙的機能やその語彙的機能の活用したものを試論で示すこと。
 2. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
 3. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
 4. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
 5. 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。
- ※本文を細読して、その語彙的表現を細読し、その語彙的機能やその語彙的機能の活用したものを試論で示すこと。
- ※本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

3.2.1.3. 本文中の語彙的表現の活用

本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

※ 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

※ 本文中の語彙的表現として、読解例の主題やその文の展開を述べ、その展開の論理的な展開の活用したものを試論で示すこと。

【附錄 1】

1. 資產

- 2023 年 12 月 31 日：2023 年 12 月 31 日，2023 年 12 月 31 日，2023 年 12 月 31 日
- 2023 年 12 月 31 日：2023 年 12 月 31 日

	2023 年 12 月 31 日			
	單位：萬元			
	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日
現金及現金等價物	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567

【附錄 2】

	2023 年 12 月 31 日					
	2023 年 12 月 31 日			2023 年 12 月 31 日		
	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日
現金及現金等價物	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567
2023 年 12 月 31 日	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567
2023 年 12 月 31 日	1,234,567			1,234,567		
2023 年 12 月 31 日	1,234,567					

2. 負債

- 2023 年 12 月 31 日：2023 年 12 月 31 日，2023 年 12 月 31 日，2023 年 12 月 31 日
- 2023 年 12 月 31 日：2023 年 12 月 31 日

項目	2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日	
		2023 年 12 月 31 日	2023 年 12 月 31 日
短期借款	500	500	500
2023 年 12 月 31 日	500	500	500
2023 年 12 月 31 日	500	500	500

以上數據均經本集團財務總監及會計師事務所審計並出具審計報告。

本報告由本集團財務總監及會計師事務所審計並出具審計報告。

- 1. 本報告由本集團財務總監及會計師事務所審計並出具審計報告。
- 2. 本報告由本集團財務總監及會計師事務所審計並出具審計報告。

【要約】

本研究は、 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、

- 図 1: 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
(10^4 から 10^6 までの範囲で)
- 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
- 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
(10^4 から 10^6 までの範囲で)
- 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
(10^4 から 10^6 までの範囲で)

【結果】

本研究の結果は、図 1 に示す通り、 10^4 から 10^6 までの範囲で、



図 1. 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、

- 図 1: 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
- 図 2: 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
- 図 3: 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、
- 図 4: 10^4 から 10^6 までの範囲で、 10^4 から 10^6 までの範囲で、